

水産生物分布調査

(No.2・ハタハタに関する調査)

中 田 凱 久

ハタハタは沖合では底曳網、沿岸では刺網、小型定置網で漁獲されるが、沖合では索餌群、沿岸では産卵接岸群が対象となっている。

1977年以降の底曳網によるハタハタ漁獲量は図1に示したとおりで、1991年は深浦地区で0.6トンここ6～7年では最低であった。鰺ヶ沢でも3.6トンとここ4年間の最低で1987年と同程度の漁獲量であった。時期的には例年同様11～12月(表1)だけで全漁獲量の82%程度を占めている。

魚体は12月に体長17～22cm、モード19cmと例年よりやや大型であった(図2)。

一方沿岸での産卵接岸群は刺網、小型定置網を設置したが皆無状態で、鰺ヶ沢他各漁協共市場には水揚げが全く見られなかった。

また、沖合の底曳網による漁獲金額は鰺ヶ沢では1,139万円で昨年の2,064万円を925万円程下回った。深浦でも123万円で昨年の295万円を172万円程下回った。kg当りの価格は鰺ヶ沢では平均3,179円、深浦では2,062円昨年同様鰺ヶ沢の価格が目立って高かったが、これは12月20日以降の漁獲があったためと思われる。

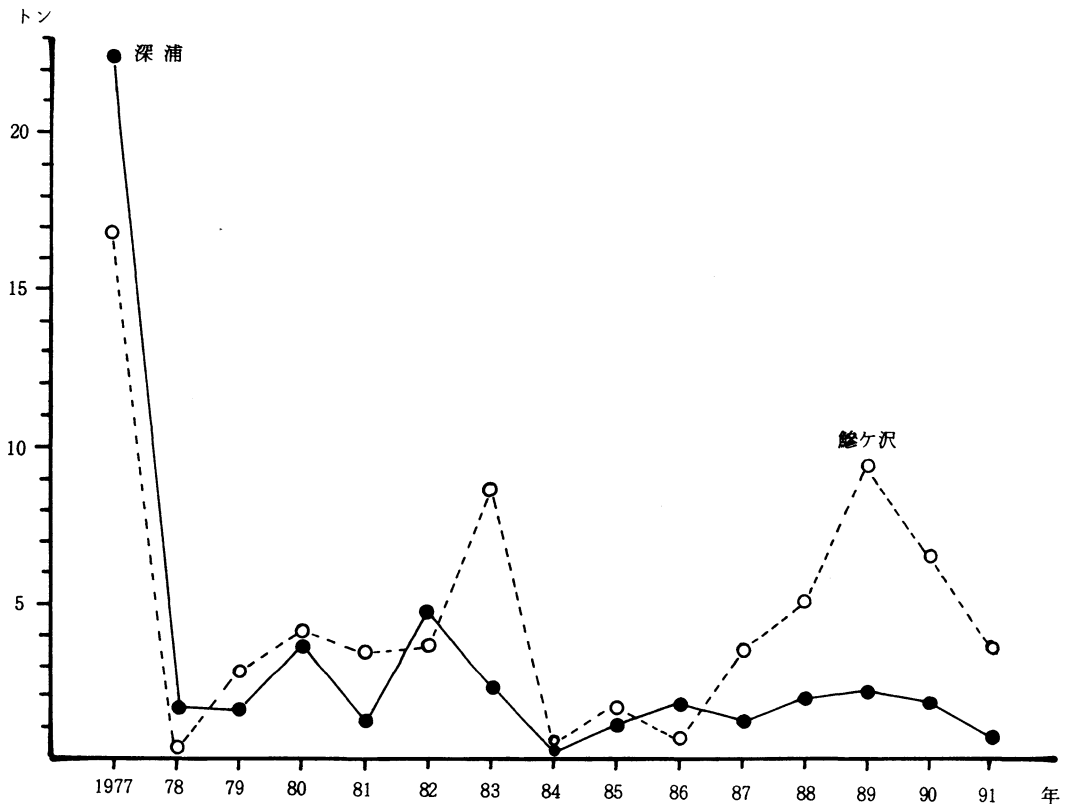


図1 底曳網(沖合)による地域別ハタハタ漁獲量

表1 底曳網による沖合のハタハタ年別、月別漁獲量

単位 : kg

	1	2	3	4	5	6	9	10	11	12	計
1979	164	37	149	31	236	29	13	3,201	243	216	4,317
80	152	0	0	108	0	106	0	236	5,346	1,895	7,843
81	0	62	0	0	5	106	80	0	1,945	2,386	4,584
82	895	0	2	74	445	395	0	596	4,307	1,699	8,413
83	586	297	285	333	394	0	8	1,821	4,780	2,257	10,760
84	42	1	0	18	2	5	1	27	74	119	289
85	1	0	2	2	56	520	4	53	5	1,995	2,638
86	49	106	0	3	185	765	22	197	572	402	2,301
87	49	2,084	3	363	284	86	4	3	1,010	720	4,605
88	17	234	633	69	277	729	20	2,027	2,058	722	6,786
89	54	3	220	471	600	92	16	780	2,969	6,258	11,462
90	33	72	6	408	371	376	1	543	920	5,513	8,244
91	430	130	1	60	175	38	39	105	292	2,910	4,180

(深浦・鯨ヶ沢港水揚げ量)

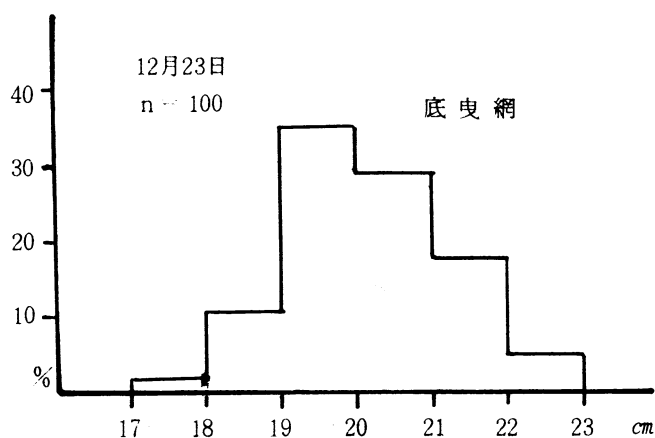


図2 ハタハタ体長組成